

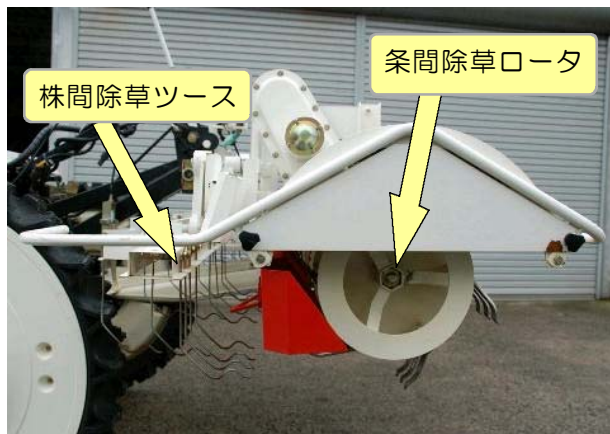
チェーン除草機を併用した機械除草

除草効果の向上を目的に、水田用除草機にチェーン除草機を取り付けて機械除草作業を行いました。

当センター作物グループでは、機械除草を中心とした除草剤を使わない水稻栽培技術の試験研究を行っています。

水田用除草機（写真1）を用いた20年度の試験では、移植後5日と15日後に機械除草を行うと除草効果が高く、欠株が少ないという結果でした。この除草機は、株間を除草できる株間除草ツースを備えていますが、活着が不十分な移植5日後に使用すると欠株が多く発生します。一方、株間除草ツースを使用しない場合、株間の残草が多くなります。

そこで、株間除草ツースの代替として、自作のチェーン除草機（写真2）を併用することにより、株間の除草効果の向上をねらいました。



（写真1）水田用除草機



（写真2）チェーン除草機



（写真3）
チェーン除草機を併用した
機械除草作業
（移植後5日目）

【注意】

チェーン除草機の取付について、水田除草機側の耐久性を確認したものではありません。

結果は、現在調査中ですが、移植5日後の除草作業後の調査では、チェーン除草機を併用した場合は、併用しなかった場合に比べて、残草本数はやや少なくなりました。また、除草後の欠株率は1%以下でした。

問い合わせ先：栽培研究部作物グループ（TEL 0853-22-6946）